

1. 地域貢献研究事業 課題一覧

当センターでは 本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する研究事業を対象として『地域貢献研究事業費』を配分しています。2011 年度は計 6 件、1,483,740 円の申請があり、当センターによる審査の結果、6 件の課題を採択し、計 1,299,001 円の研究事業費を配分しました（予算額：1,300,000 円）。

研究課題 6 件の報告書を当年報（P.29～）に掲載しておりますので、併せてご覧ください。

（単位：円）

所属	研究代表者	職位	研究課題	対象地域	配分額
看護	酒井昌子	教授	地域性を踏まえた在宅緩和ケアの訪問看護基準の作成	聖隷福祉事業団 浜松市内の聖隷訪問看護ステーション	147,106
看護	仲村秀子	講師	コミュニティを基盤とした参加型研究方法（Community-Based Participatory Research: CBPR）を用いたコミュニティ・ニード調査	浜松市天竜区佐久間地区	220,260
リハST※	立石恒雄	教授※	発達障害幼児に適応可能な聴力検査と発達レベルとの関係	浜松市	263,376
リハPT	金原一宏	助教	地域在住高齢者を支えるリハビリサポート体制の構築	浜松市北区	288,331
リハOT	建木 健	助教	高次脳機能障害者の就労継続支援事業（ナイトサロン）の効果	浜松市	235,000
リハOT	鈴木達也	助教	出張型陶芸クラブの創設	浜松市	144,928
合計					1,299,001

※看護＝看護学部、リハ＝リハビリテーション学部、PT＝理学療法学科、OT＝作業療法学科、ST＝言語聴覚学科

※所属、職位は 2011 年度当時

< 地域貢献研究事業 報告会 >

2010 年度に地域貢献研究事業費の配分を受け実施された研究事業の報告会を下記日程で開催しました。

日時：2011 年 11 月 5 日（土）聖灯祭・ホームカミングデー同日

場所：聖隷クリストファー大学 1409 教室

発表：ポスター発表

（2009・2010 年度地域貢献研究事業のコーヒESHOP と併設【地域と歩むラウンジ】）

来場者数：88 名

地域貢献研究事業費 2011 年度募集要項

保健福祉実践開発研究センター「地域貢献研究事業費」について、下記の要領で研究事業計画を募集します。

1. 基本方針

保健福祉実践開発研究センターの柱のひとつである「保健医療福祉分野に係るすべての人たちとの共同事業・研究」を推進し、共同で課題解決を図るために、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する研究事業を対象とした研究事業費を募集します。

2. 対象となる研究事業、および研究事業費の金額

本学周辺地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究事業で、特に、本格的な研究事業へつながることを前提とした基礎調査・予備調査、地域との基盤作りとしての事業、または将来性を見込める地域との共同事業を対象とします。

※専門職連携（Interprofessional Work）を意識し、他学部・分野と共同で行う研究事業、また、実習先・就職先施設等と連携した研究事業であればなお望ましい。

研究事業費の配分総額は 130 万円の予定です。

（2011 年度予算決定をもって確定しますので、変わる可能性があります）

2010 年度の配分実績は、11 件の計画に対して総額 130 万円を配分しました。上記以外の研究計画および金額規模の大きな研究計画は、別途募集される 2011 年度共同研究費または科学研究費補助金等の学外研究助成金への申請をご検討くださいますようお願いいたします。

3. 対象期間

2011 年 4 月 1 月～2012 年 3 月 31 日

4. 研究成果の提出

- ・研究代表者は、研究期間内における研究課題の成果を取りまとめ、研究成果報告書を 2011 年 6 月末日までに保健福祉実践開発研究センターに提出してください。
- ・研究代表者は、保健福祉実践開発研究センターが企画する報告会等で発表する義務を負います。

5. 審査の方法

保健福祉実践開発研究センターは、配分案を検討するにあたり、申請された計画書に対して以下の項目を目安にして審査をします。

- （1）本学周辺地域の保健医療福祉の向上にどのように貢献できるか
- （2）本件が基礎調査・予備調査・地域との基盤作り等である場合の将来展望
- （3）実施方法
- （4）専門職および地域との連携に関するアピールポイント